

2017年度 和泉短期大学

授業科目名	保育方法	教員氏名	松山 洋平
学年	2年		
授業形態	演習	開講学期	前期
必修・選択	幼免必修	単位数	2単位
テーマ	保育者が子どもの育ちを援助する保育の実際の方法とは何かを学ぶ。		
授業の概要	本講義は講義だけでなく、学生に対してグループディスカッションや発表する機会を設けながら保育方法を基礎から学び、理解を深めことができるようにする。また、学生の実習経験の振り返りや教員自身の保育経験を交えながらより実践に近い授業を行い、学生自身が保育方法の重要性を把握し、認識できるようにする。最終的にはこの授業を通して、学生自身の保育観を見出していくことができるようになることである。		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育を実践していくために必要な知識と考え方について説明できる</li> <li>・教材研究を通して子ども理解を基にした実践方法について理解する</li> <li>・現在の自身の保育観を伝えることができる</li> </ul>		
テキスト	『最新保育講座 保育方法・指導法』ミネルヴァ 書房		
参考書	厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で作成した教材研究課題を整理して綴じる</li> <li>・Google Classroomでの課題については第1回に説明する</li> </ul>		
成績評価方法	小テスト・提出課題70%、授業態度と意欲30%。授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、発表も含む		
<b>授 業 概 要 と 課 題</b>			
第1回	テーマ 内容	オリエンテーション ・保育方法とは何か、授業の展開について	
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉テキスト1章1, 2節を読む	
第2回	テーマ 内容	子ども理解と保育方法① ・保育の基盤としての子ども理解	
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉テキスト1章3, 4, 5節を読む	
第3回	テーマ 内容	子ども理解と保育方法② ・乳幼児の理解と保育方法	
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉テキスト2章1, 2節を読む	
第4回	テーマ 内容	保育の基本① ・遊びによる総合的指導とは	
	授業外指示	〈予習〉テキスト4章を読む 〈復習〉提示された課題に取り組む	

第5回	テーマ 内容	保育の基本② ・乳幼児期にふさわしい園生活の展開とは
	授業外指示	〈予習〉テキスト5章を読む 〈復習〉提示された課題に取り組む
第6回	テーマ 内容	保育方法の実際① ・発達の時期に応じた保育のあり方
	授業外指示	〈予習〉実習経験を振り返り、発達に応じた援助方法の事例を考えてくる 〈復習〉テキスト3章を復習する
第7回	テーマ 内容	保育方法の実際② ・教材研究課題
	授業外指示	〈予習〉今まで行った教材を整理する 〈復習〉教材研究課題に取り組む
第8回	テーマ 内容	保育方法の実際③ ・教材作成案と具体的な保育展開
	授業外指示	〈予習〉教材研究課題に取り組む 〈復習〉振り返り課題に取り組む
第9回	テーマ 内容	さまざまな工夫が求められる保育
	授業外指示	〈予習〉テキスト6章を読む 〈復習〉振り返り課題に取り組む
第10回	テーマ 内容	個と集団への保育方法
	授業外指示	〈予習〉配布資料を読む 〈復習〉課題に取り組む
第11回	テーマ 内容	情報機器を用いた保育方法 ・子どもの興味や関心を支える保育方法
	授業外指示	〈予習〉配布資料を読む 〈復習〉課題に取り組む
第12回	テーマ 内容	保育の記録と保育方法 ・保育者の成長と保育実践の深まり
	授業外指示	〈予習〉配布資料を読む 〈復習〉課題に取り組む
第13回	テーマ 内容	保育計画 ・計画と保育方法
	授業外指示	〈予習〉幼稚園教育実習の計画と方法を復習する 〈復習〉テキスト7章を読む
第14回	テーマ 内容	現代における保育の課題 ・子どもに即した保育方法
	授業外指示	〈予習〉配布資料を読む 〈復習〉課題に取り組む
第15回	テーマ 内容	まとめ
	授業外指示	授業内で作成した教材研究課題を整理して綴じる

2017年度 和泉短期大学

授業科目名	保育方法	教員氏名	須永 真理
学年	2年		
授業形態	演習	開講学期	前期
必修・選択	幼児必修	単位数	2単位
テーマ	基本的な保育方法を理解し、習得する。		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本講義は講義だけでなく、学生に対してグループディスカッションや発表する機会を設けながら保育方法を基礎から学び、理解を深めことができるようにする</li> <li>・また、学生の実習経験の振り返りや教員自身の保育経験を交えながらより実践に近い授業を行い、学生自身が保育方法の重要性を把握し、認識できるようにする</li> <li>・最終的にはこの授業を通して、学生自身の保育観を見出していくことができるようになることである</li> </ul>		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間が成長・発達する上で、最も重要な時期が乳幼児期である。そうした乳幼児期の子どもの表情や態度、言葉、行動を受け止め、見守りながら寄り添うことは保育者の役割である</li> <li>・本講義では、保育者として子どもにとってふさわしい生活や環境とは何か、子どもにとっての遊びの重要性、子どもへの関わり方等の保育方法の基礎を学ぶ</li> <li>・発達段階に応じた子どもへの関わり方についての理解を深める</li> </ul>		
テキスト	①『保育所保育指針』厚生労働省 ②『幼稚園教育要領』文部科学省(フレーベル館)		
参考書	授業時に提示する 授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	なし		
成績評価方法	授業意欲30%、ディスカッション・グループ発表への参加40%、試験30%(合計100%)で総合的に評価する		
<b>授業概要と課題</b>			
第1回	テーマ内容	保育方法とは何かを学ぶ	
	授業外指示	保育方法について事前に調べておくこと	
第2回	テーマ内容	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」にみる保育方法	
	授業外指示	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」を事前に読んでおくこと 次回の授業内容を事前学習する	
第3回	テーマ内容	子どもにとっての遊びの重要性	
	授業外指示	「遊び」における事後学習する 次回の授業内容を事前学習する	
第4回	テーマ内容	子どもにふさわしい園生活の環境について	
	授業外指示	「環境」における事後学習する 次回の授業内容を事前学習する	

第5回	テーマ 内容	保育者としての子どもへの関わり方(人間関係)
	授業外指示	「人間関係」における事後学習する 次回の授業内容を事前学習する
第6回	テーマ 内容	発達段階に応じた保育のあり方(0歳児)
	授業外指示	発達段階(0歳児)について事後学習する 次回の授業内容を事前学習する
第7回	テーマ 内容	発達段階に応じた保育のあり方(1歳児)
	授業外指示	発達段階(1歳児)について事後学習する 次回の授業内容を事前学習する
第8回	テーマ 内容	発達段階に応じた保育のあり方(2～3歳児)
	授業外指示	発達段階(2歳～3歳児)について事後学習する 次回の授業内容を事前学習する
第9回	テーマ 内容	発達段階に応じた保育のあり方(4歳～5歳児)
	授業外指示	発達段階(4歳～5歳児)について事後学習する 次回の授業内容を事前学習する
第10回	テーマ 内容	保育計画(長期計画)の方法を学ぶ
	授業外指示	保育計画(長期計画)の方法について事後学習する 次回の授業内容を事前学習する
第11回	テーマ 内容	保育計画(短期計画)の方法を学ぶ
	授業外指示	保育計画(短期計画)の方法について事後学習する
第12回	テーマ 内容	授業の内容に関する課題について①
	授業外指示	グループ発表準備を各グループで事前に行うこと
第13回	テーマ 内容	授業の内容に関する課題について②
	授業外指示	グループ発表準備を各グループで事前に行うこと
第14回	テーマ 内容	授業の内容に関する課題について③
	授業外指示	グループ発表準備を各グループで事前に行うこと
第15回	テーマ 内容	これまでの学びを振り返る・試験
	授業外指示	これまでの授業で行った内容(講義、ノートや配布プリント)を見返して復習すること